

【薬学部 臨床薬剤学講座】薬学部6回生 雨堤 智生さんが
筆頭著者の論文が Die Pharmazie 誌に掲載されました。

レベチラセタムの消化管吸収が半固形化経腸栄養剤によって阻害される
可能性を提唱！

本学薬学部6回生 雨堤 智生さん（臨床薬剤学講座 所属）が筆頭著者として執筆した論文（英文）が、国際的学術雑誌 Die Pharmazie 誌（Impact Factor 1.515）に掲載されました。本研究において雨堤さんは、臨床で通常食の摂取が困難になった患者が栄養補給のために使用する「経腸栄養剤」のうち、半固形化状のものの一部が抗てんかん薬であるレベチラセタムの吸収を低下させることを明らかにしました。本研究結果で得られた知見は、レベチラセタムを投与中の患者において、経腸栄養剤を選択する際に重要な示唆を与えるものです。なお、本研究は大阪医科薬科大学病院薬剤部との共同研究として実施しました。

雨堤 智生さんのコメント：

『経腸栄養剤を変えて実験を繰り返して行なうなかで、どういった変化が出るのかを楽しみに実験を行っていました。しかし、なかなか思うような結果が出ず、挫けそうになることも多々ありました。その度に先生方や友人に励ましてもらい、すべての実験をやり終えた時には自分自身の知識や技術の成長をととても感じました。また、論文執筆は初めての経験で、何度も訂正をし続ける日々で心が折れかけました。それでも研究成果を世界の人達に向けて発信したい気持ちのおかげで論文執筆を続けることができました。論文執筆で苦労した考察などは先生方のアドバイスや友人の励ましのおかげで最後まで完成させることができました。苦労して完成させた研究成果を世界に向けて発信することができ、とても嬉しく思っています。』

【掲載論文の情報】

雑誌名：Die Pharmazie, 78(8), 117-121, 2023.

タイトル：Semisolid Enteral Nutrients Alter the Pharmacokinetics of Orally Administered
Levetiracetam in Rats

著者：

T Amadutsumi¹⁾, Y Urashima¹⁾, K Urashima²⁾, K Suzuki³⁾, K Kurachi³⁾, M Nishihara³⁾, M Neo³⁾, M Myotoku⁴⁾, T Kobori¹⁾, T Obata¹⁾,

1. Laboratory of Clinical Pharmaceutics, Faculty of Pharmacy, Osaka Ohtani University
2. Department of Pharmacy, Japan Community Health Care Organization Osaka Minato Chuo Hospital, Osaka, Japan
3. Department of Pharmacy, Osaka Medical and Pharmaceutical University Hospital, Osaka, Japan
4. Laboratory of Practical Pharmacy and Pharmaceutical Care, Faculty of Pharmacy, Osaka Ohtani University, Osaka, Japan

問い合わせ先（研究に関すること）：

薬学部 臨床薬剤学講座 准教授 小畑 友紀雄

E-mail: obatatoki * osaka-ohtani.ac.jp (*を@に置き換えて下さい。)